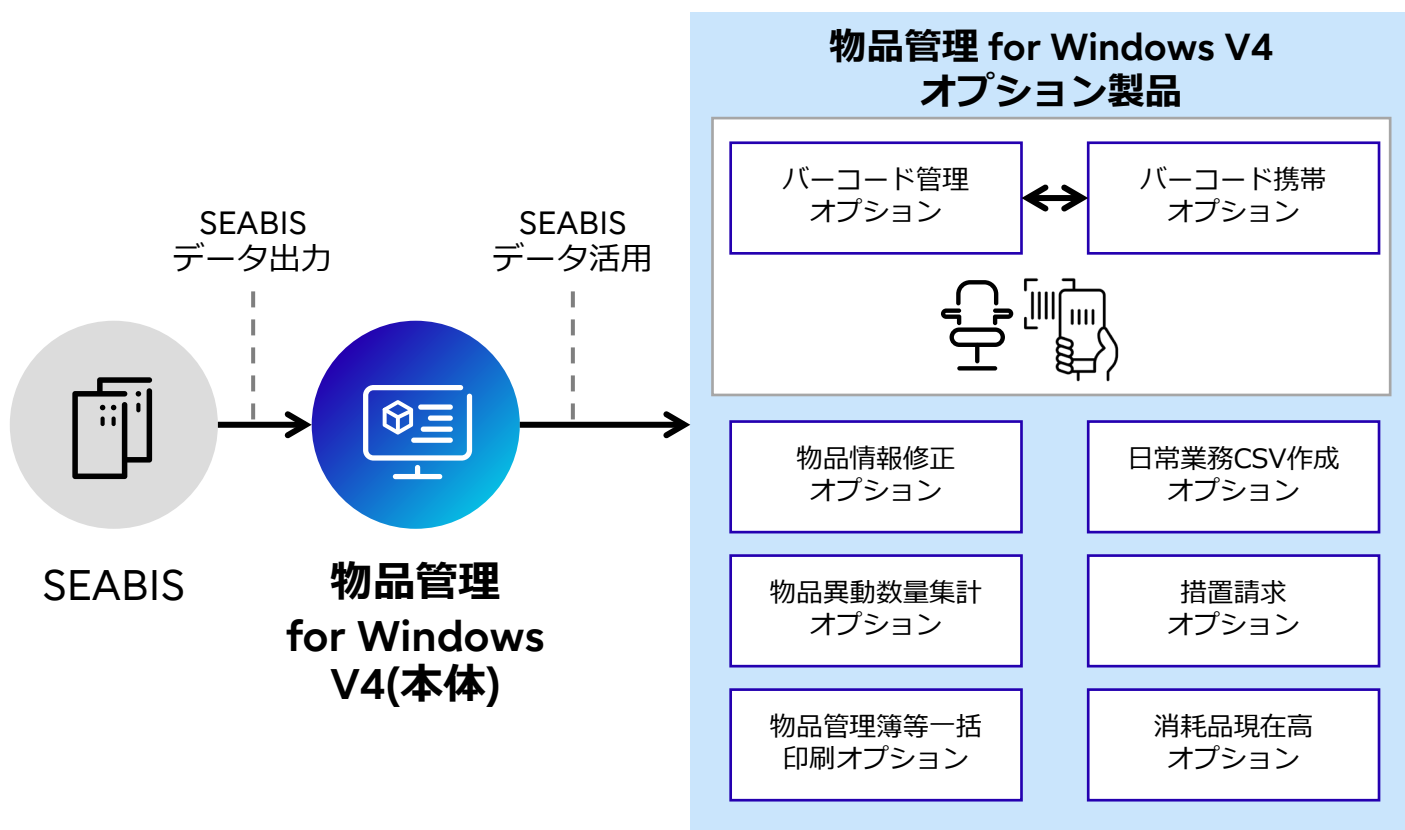


『物品管理 for Windows V4』シリーズは、府省共通物品管理システム（以降、「SEABIS」と記載）から出力された物品データを活用し、“SEABISを使った物品管理業務の支援”と“SEABISで対応できない物品管理業務の実施”を実現するソフトウェア製品です。

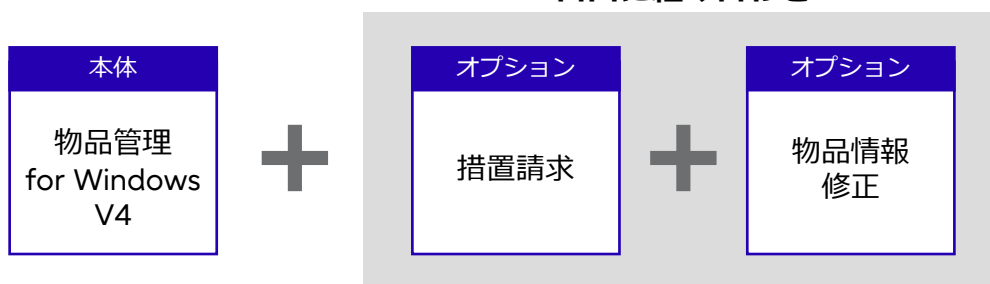
『物品管理 for Windows V4』は、SEABISで登録している官署単位で、データ管理を行っています。取得や返納・廃棄業務の実施、物品管理簿や物品供用簿の作成・管理は、SEABISで行います。一方、『物品管理 for Windows V4』は、SEABISに入力された情報を利用し、SEABIS運用の支援、SEABISの補完を実現します。

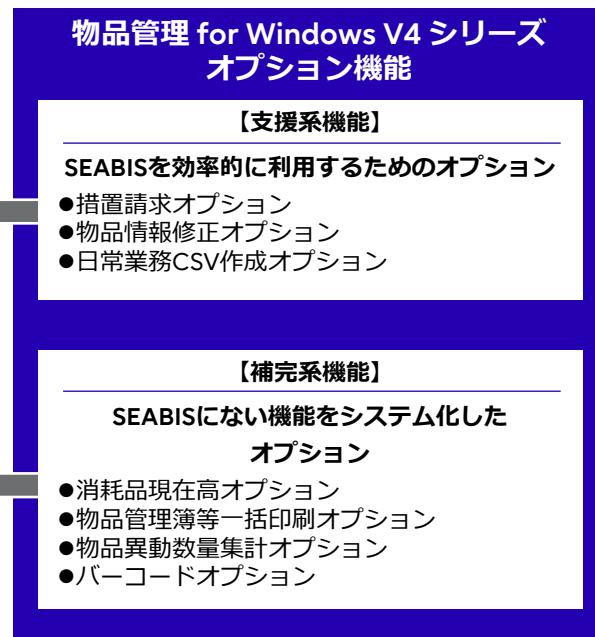
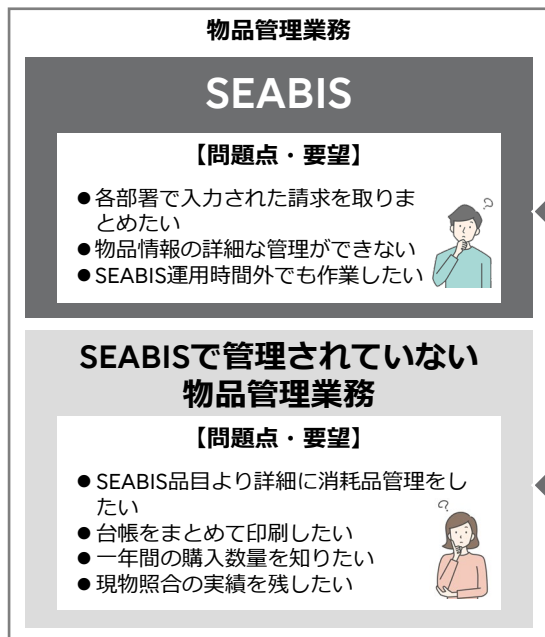


オプション製品について

『物品管理 for Windows V4』には、7種類のオプション製品があります。『物品管理 for Windows V4』のオプション機能は、主に支援系機能と補完系機能の2種類に分別されます。『物品管理 for Windows V4』と、お客様が必要なオプション製品を組み合わせ、運用します。SEABISから出力された物品データを取りこむ『物品管理 for Windows V4（本体）』と、取り込んだデータを活用する各オプション機能を、自由に組み合わせ利用します。

自由に組み合わせ





物品管理 for Windows V4の特長

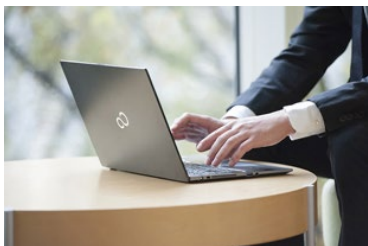
初期導入作業が簡単

本製品はSEABISから出力されたデータを利用します。
面倒な初期登録作業は不要です。



データ入力・修正作業の負荷を軽減

本製品上で、取得等の明細行の作成や物品情報リストの修正データ作成が可能です。簡単な操作で一括入力や一括修正を実現しており、作業効率の向上が見込めます。



充実の補完機能

現物照合（全品突合）、消耗品の細分管理（SEABIS品目を細分化した管理）、管理簿等の一括印刷など、SEABISを補完する機能を提供しています。



デジタルで現物照合を実施 （バーコードオプション）

SEABISで作成される物品標票と同じ様式で、2次元バーコードを付加した物品標票の作成が可能です。物品に貼付したバーコードを携帯機器で読み取ることで、照合日や照合結果を記録します。デジタルで現物照合することで、正確かつ確実な現物照合を実現します。



お客様の帳票に合わせて作成 （バーコードオプション）

本製品で作成する物品標票は、お客様のご要望に合わせて、大きさや向き、フォーマットなどが自由に設定可能です。導入前にご相談ください。

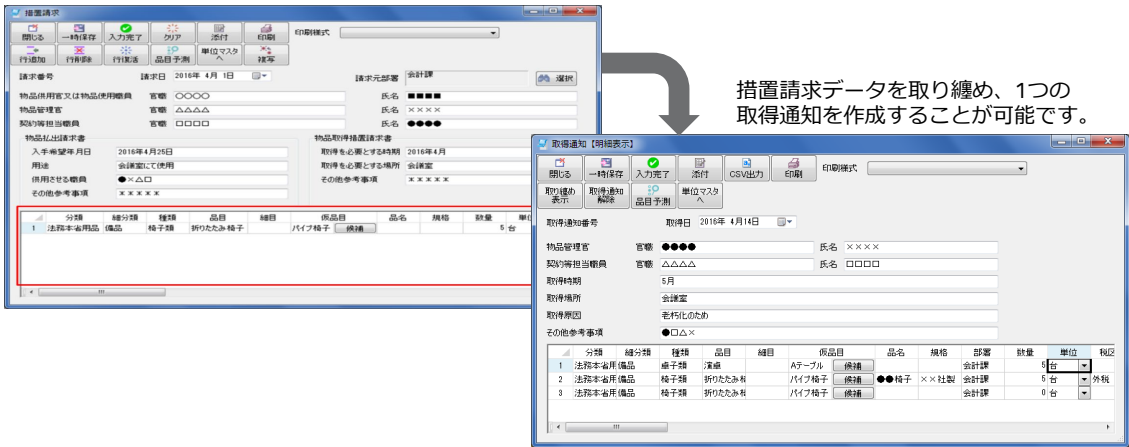


充実のサポート体制

本製品の利用に際し、専用のサポート窓口を設けています（別途サポート契約が必要。原則メールにて対応）。操作に関する質問や、端末更新時の再設定など、専門のスタッフがご対応させていただきます。

措置請求オプション

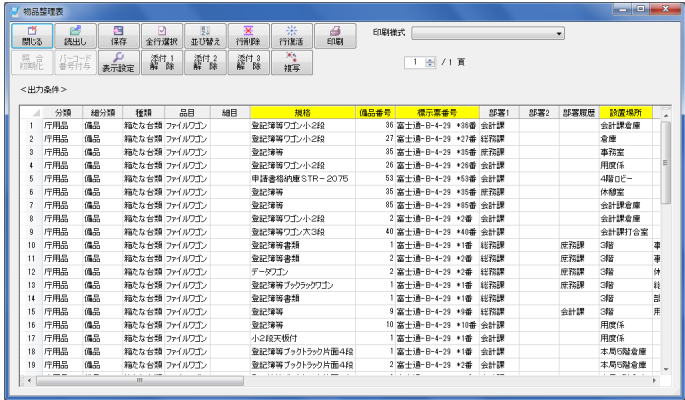
措置請求オプションでは、払出請求、取得措置請求データ（以降、「措置請求データ」と記載）を作成し、『物品取得措置請求書』『物品払出請求書』を印刷することが可能です。



作成した取得通知データをCSVファイルに出力し、SEABISの取得通知画面にて、取込を行うことも可能です。

物品情報修正オプション

物品情報修正オプションは、SEABISの物品情報リストのデータを、『物品管理 for Windows V4』上で修正する機能です。
『物品管理 for Windows V4』上で修正できることで、SEABIS運用時間外の修正や、複数台でのデータ修正を行うことができます。



修正可能な項目

- 規格
- 備品番号
- 標示票番号
- 設置場所
- 取得年月日
- 供用年月日
- 新規年月日
- 会計
- 勘定
- 組織
- 項
- 目
- 予算事項
- 取得価格
- 業者
- 借受区分
- 予算項目1~10
- 備考
- 重要物品品目分類
- 減価償却方法
- 耐用年数
- 減価償却累計額
- 廃棄年月日
- 管理換年月日
- 分類換年月日
- 亡失年月日
- 譲与年月日

日常業務CSV作成オプション

日常業務CSV作成オプションでは、SEABISの増・他・減処理の日常業務処理画面にて、明細取込を実施するためのCSVファイルを作成します。



保存されたデータを再表示し、複写することが可能なため、毎月購入する消耗品などは、明細を複写することで、品目選択などの入力負担が軽減されます。

日常業務CSV作成オプションで入力可能な業務

- (増) 取得、借受・寄附、国有財産編入（国有財産から物品）
- (他) 返納、供用換、分類換、供用、価格改定、品目改訂、貸付・寄託
- (減) 管理換、修繕・改造、処分、国有財産編入（物品から国有財産）、貸付・寄託・譲与、亡失・損傷、廃棄・売却

消耗品現在高オプション

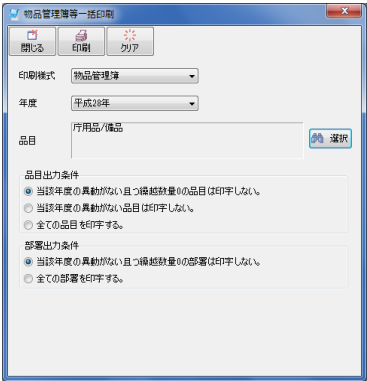
消耗品現在高オプションとは、物品V4品目単位（※）で消耗品の現在高を管理し、消耗品の異動履歴一覧の作成を行う機能です。薬などの詳細な名称を管理したい消耗品、切手など価格単位で枚数管理をしたい消耗品や、コピー用紙などのサイズ単位で管理したい消耗品などの管理にお奨めです。

※物品V4品目とは、SEABISで規定されている消耗品の品目情報（分類～細目）について、より詳細に管理を行いたい場合に、SEABISの品目情報（品目・細目）の下位に自由に設定することができる『物品管理 for Windows V4』独自の項目です。



物品管理簿等一括印刷オプション

物品管理簿等一括印刷オプションは、SEABISから取り込んだ物品管理簿・物品供用簿・物品出納簿を一括で印刷するオプションです。SEABIS上で印刷する場合、1品目ずつ条件を選択する必要がありますが、物品管理簿等一括印刷オプションでは、分類単位、細分類単位、種類単位などで、一括で印刷することが可能です。

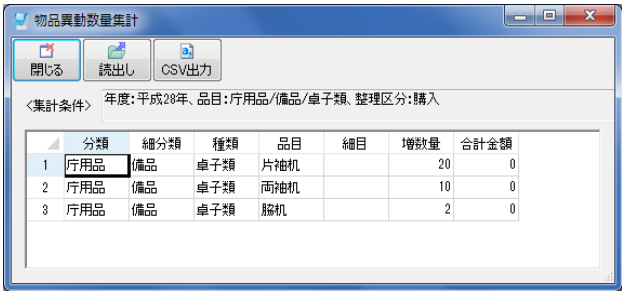


印刷条件は、「印刷様式」と「年度」を選択することで、該当年度の物品管理簿等を一括で印刷することが可能です。担当者の台帳印刷の負担を軽減します。

物品異動数量集計オプション

物品異動数量集計オプションでは、SEABISの物品管理簿データを基に、1ヶ月間の購入物品数などを品目単位で集計します。集計条件は自由に選択することができ、期間や部署などを限定した集計を行うことができます。

集計条件は、「年度」「登記日」「物品情報（分類～品目）」「異動区分」「整理区分」「移行数量範囲」「価格範囲」「部署」「摘要」「ユーザ定義」があります。選択条件の異動区分によって、物品異動数量集計明細の表示項目は異なります。



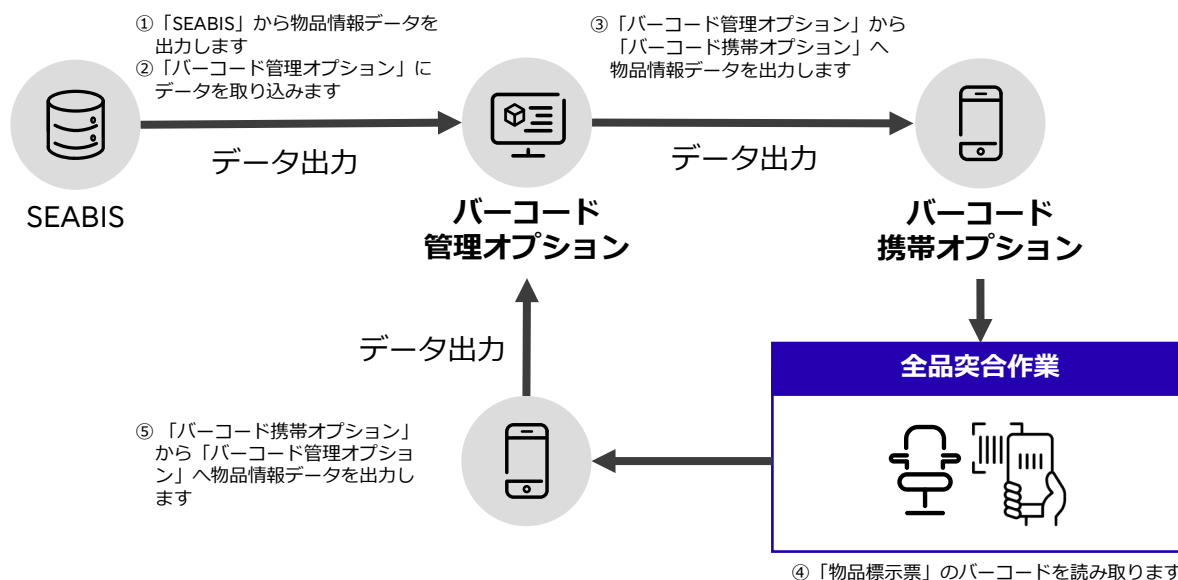
異動区分別の明細項目

- (増) 分類・細分類・種類・品目・細目・増数量・合計金額
- (他) 分類・細分類・種類・品目・細目・減数量・合計金額
- (減) 分類・細分類・種類・品目・細目・部署別異動数量・合計金額

バーコードオプション

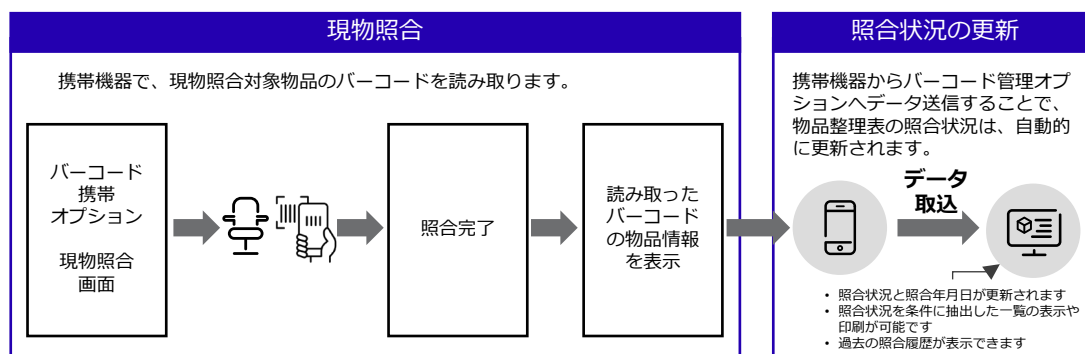
全品突合作業の元となる物品情報データはSEABISのデータとなり、このデータを元に全品突合作業を実施する必要があります。

『物品管理 for Windows V4 バーコードオプション』では、SEABIS物品情報データを有効活用し、オプションを活用することで突合作業の省力化を支援します。



■ バーコードリーダを利用した現物照合

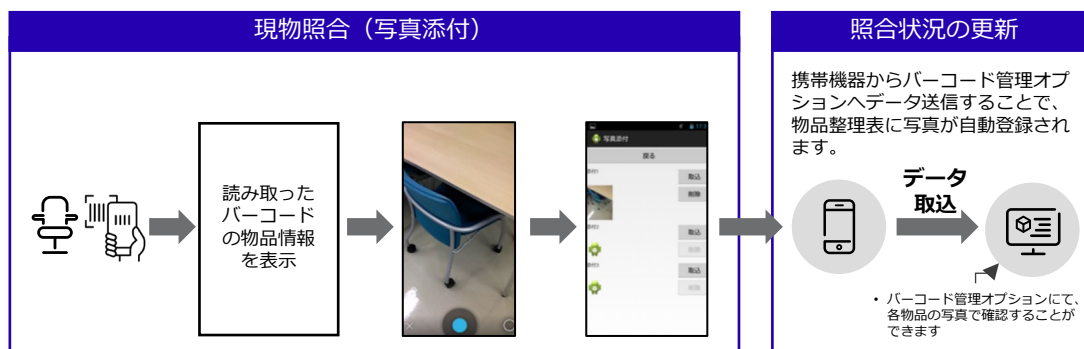
携帯可能なバーコードリーダを用いて照合～結果反映までをカバーします。バーコードリーダで読み取るだけで、照合はもちろん、突合結果（履歴）を物品情報一覧データへ反映することが可能です。



■ 【機能】写真添付

現物照合実施時に、物品の写真を撮り、画像として情報を残すことが可能です。

品目名や規格名で判断しづらい場合に、画像と見比べることで**確実な物品の判別**が可能です。1 備品に対して3枚の写真撮影が可能です。



■ 【機能】バーコード付き物品標示票の作成

バーコード管理オプションから、バーコード付き物品標示票を印刷することが可能です。
SEABISで規定された物品標示票だけでなく、貼付が困難な小さな物品にも対応できるよう、**3種類のシールが出力可能です。**



■ 期待される効果（時間効率）

「バーコードオプション」の利用により、**約40%の効率化が可能です。**

-計算式- ※大まかな作業項目で試算します。

全品突合に係る
時間(分)

= (

物品
点数

×

(

照合に係る時間
(分/1物品)

+

照合結果登録に
係る時間
(分/1物品)

) +

突合結果資料作成、
報告(分/1回)

) ×

全品突合回
数(回/1年)

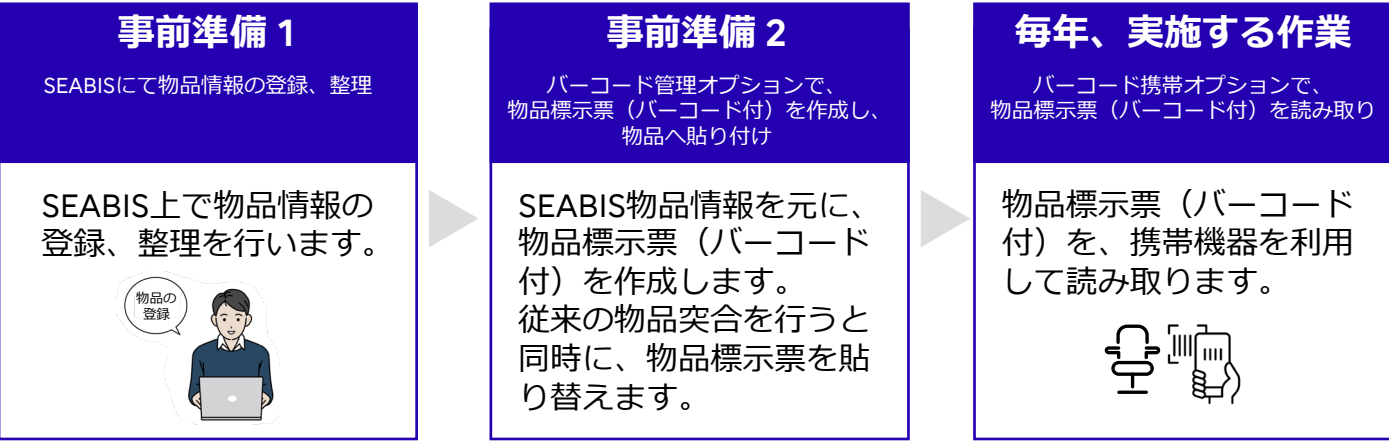
■ 手順&目視で行った場合 (物品点数5,000点で年1回の突合作業) (注1)	■ バーコードオプションを利用した場合 (物品点数5,000点で年1回の突合作業)
1名の担当で1日8時間作業した場合、 所要時間は約52日 となります。	1名の担当で1日8時間作業した場合、 所要時間は約21日 となります。

バーコードオプションを利用することで、**約40%の効率化を実現します**

(注1) 手動及び目視における照合及び結果登録・報告に係る時間は、弊社独自アンケート結果によるものです。また、現有物品へバーコード（物品提示票）貼付を行う時間は含んでいません。

■ バーコードオプション利用までの流れ

「バーコード携帯オプション」の利用には、事前準備として「SEABISへの物品情報の登録、整理」「物品標示票（バーコード付）の貼り替え作業」が必要です。



製品体系

No.	製品名	備考
物品管理 for Windows V4シリーズ		
1	物品管理 for Windows V4	システム本体（1端末使用ライセンス含む）
2	物品情報修正オプション	1官署あたりの使用ライセンス
3	物品管理簿等一括印刷オプション	1官署あたりの使用ライセンス
4	物品異動数量集計オプション	1官署あたりの使用ライセンス
5	日常業務CSV作成オプション	1官署あたりの使用ライセンス
6	バーコード管理オプション	1官署あたりの使用ライセンス
7	バーコード携帯オプション	1官署あたりの使用ライセンス。携帯機器は別売
8	措置請求オプション	1官署あたりの使用ライセンス
9	措置請求供用官ライセンス	1端末あたりの使用ライセンス
10	消耗品現在高オプション	1官署あたりの使用ライセンス
11	消耗品現在高供用官ライセンス	1端末あたりの使用ライセンス
PROPOSE（サービス）商品		
1	導入教育サービス	
2	年間サポートサービス 標準サポート	複数台運用の場合、個別御見積

動作環境

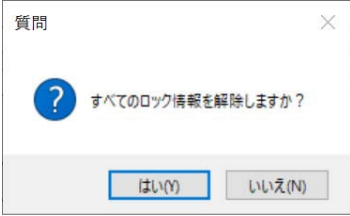
基本ソフトウェア	データベースソフト	必須ソフトウェア
対応OS ・ Microsoft®Windows®11（64bit）	Microsoft®Access®	<ul style="list-style-type: none">Microsoft®Excel®2021、Microsoft®365 デスクトップ版のみ対応、ストアアプリ版は動作保証対象外です。Microsoft®.NETFramework4.6以上必須 上記以外をご希望の場合は、弊社までお問い合わせください。データベースソフトにおいて、Microsoft®Access®を使用する場合、Microsoft®Access®自体がインストールされている必要はありません。

導入実績

北海道から沖縄県まで全国各地の施設様にご導入いただいております。詳しくはお問い合わせください。
府省庁の約300施設で導入されています。

導入済み 府省庁			
内閣府	経済産業省	法務省	文部科学省
農林水産省	厚生労働省	国土交通省	—

よくある質問

質問	回答
物品管理 for Windows V4にログインする際に「他の端末で使用中です。」メッセージが表示され、ログインできない。	<p>同一のログインIDで他の端末で利用している場合や、物品管理 for Windows V4を強制的に終了した場合などに、物品管理 for Windows V4にロックがかかります。</p> <p>ログイン画面下部の「Copyright 2024 FUJITSU LIMITED」の文字をダブルクリックしてください。</p> <div></div> <p>「すべてのロック情報を解除しますか？」メッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。</p> <div></div> <p>その後、ログインID、パスワードを入力してログインを行ってください。</p> <p>「物品管理 for Windows V4 L01B」以前のバージョンをご利用の場合、ロック解除のためのパスワードが必要となります。</p> <p>ロック解除パスワードに関するお問い合わせについては、年間サポートサービスの加入・未加入に関わらず、対応致しますので、問い合わせ先のE-mailまでご連絡ください。</p>

上記ご質問を含む『物品管理 for Windows V4』ご利用の際のよくあるご質問については、こちらの [別紙](#) をご参照ください。

- 記載内容は予告なしに変更されることがあります。いかなる場合でも、内容およびその運用の結果に関しては一切の責任を負いません。
- 内容の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- 記載されている会社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

お問い合わせ先
富士通株式会社

<https://contactline.jp.fujitsu.com/customform/csque19802/252318/>